

# 立命館經濟學

第十卷 第三号

昭和三十六年八月

井上巖次郎教授還曆祝賀論集

内 容

## 論 說

- |                           |         |     |
|---------------------------|---------|-----|
| 都府經濟の段階と現今の広域經濟圏の問題……………  | 淡 川 康 一 | 1   |
| 大学と労働者教育……………             | 平 田 隆 夫 | 24  |
| 日本海運における独占形態……………         | 岡 庭 博   | 51  |
| ヒルファーディングにおける株価分析……………    | 住ノ江 佐一郎 | 75  |
| 経営分析の新しい概念……………           | 田 中 米 一 | 94  |
| わが国最低賃金法について……………         | 坂 寄 俊 雄 | 120 |
| 十八世紀イギリスの貿易構造……………        | 角 山 栄   | 138 |
| 社会統計における統計的規則性の意義と限界…………… | 関 弥 三 郎 | 169 |
| 農村人民公社の所有制と發展構造……………      | 松 野 昭 二 | 191 |
| ——「生産隊を基本とする三級所有制」——      |         |     |
| G・ミュルダールの価値判断論……………       | 浜 崎 正 規 | 233 |

立 命 館 大 学 經 濟 学 会

立命館経済学 第十卷・第一号

論説

労務管理の対象 坂 寄 俊 雄

賃労働者の範疇的把握(中) 梯 明 秀

——マルクスの「商品人間の  
自己意識」の分析に限定して——

士族反乱の構造的特徴について 後 藤 靖

研究

資本予算と減価償却 服 部 俊 治

——投資利益率に及ぼす  
加速的減価償却の効果——

発行所 立命館大学人文科学研究所

立命館経済学 第十卷・第二号

論説

賃労働者の範疇的把握(下) 梯 明 秀

——「商品人間」と  
「労働人間」との媒介的統一として——

士族反乱の構造的特徴について(二) 後 藤 靖

ザクセン州における

農業労働力の存在形態(一) 大 藪 輝 雄

地方証券取引所の諸問題 住ノ江 佐 一 郎

研究

地域産業連関表利用の一例 岡 崎 不 二 男

発行所 立命館大学人文科学研究所